

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

放送日時：8月11日～9月10日
月・水・金・日 9：30・20：30
火・木・土 12：30・20：30

■FMよっかいちで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。
放送日時：8月14日・28日 8：54・14：54



かどの ゆう き
角野友紀さん

32年ぶりにオリンピックに出場する水球男子日本代表（ポセイドンジャパン）。そんなポセイドンジャパンの一員として、リオデジャネイロオリンピックに出場される角野選手にお話をお聞きしました。

○夢だったオリンピック出場

22歳から日本代表としてプレーしていますが、オリンピックに出ることは水球を始めたころからの夢だったので、オリンピック予選で勝った時には、試合で勝って初めて泣きました。それくらい嬉しかったです。



リオデジャネイロ五輪アジア大陸予選大会
(昨年12月開催)

○水球の魅力とは

水球は、水深2m以上のプールで相手のゴールにボールを入れ、得点を競い合うスポーツです。泳ぐだけではないので、スポーツの中でも1、2を争うハードさだと思います。

海外の屈強な選手と比べると、日本人は細身で小柄です。その分、スピードや泳力で戦っていきます。最大の魅力は、スピードを生かしたチームプレイにあると思います。何も話さなくても、目を見れば相手が何を思っているか分かります。

水球はハードで、マイナーなスポーツですが、このオリンピックをきっかけに、はやってほしいですね。

○水球に一目ぼれ

幼稚園の時からスイミングスクールに通い、競泳をやっていました。小学4年生の時、中・高校生チームが水球をしているのを見て、「競泳よりこっちの方がカッコいい」と一目ぼれし、元々チームプレイや球技が好きだったこともあって、すぐに転向しました。

その頃、小学生のチームが無かったので、中・高校生チームの監督に「ぼくもこれがやりたい！」と言い、一人で中・高校生チームの練習に乗り込みました。それから、監督が小学生を集めて、小学生チームを作ってくれました。最初は何もできませんでしたが、そこから段々と、できる自分へと成長していくのが面白かったです。

○厳しい練習を超えて、未来へ

学生時代から、そして今も、練習は厳しいですが、水球が好きなので楽しいです。勉強でも恋愛でもそうですが、「楽しい」と思っていることでないと人は成長しません。楽しいと思えることを見つけて頑張れば、成長できると思います。



市役所を表敬訪問する
角野選手(奥右)

日本はオリンピックでまだ1勝しかしたことがありません。史上初の2勝を目指して、最高のプレーができるように、これからも頑張っていきます。

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



随時加入者
募集中
建労
四日市支部

三建国保

組合独自の
建設労働者の
健康保険

出産育児一時金（42万円）
葬祭費（本人10万円・家族7万円）
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助（3万3千円）
脳ドックに対する補助（2万円）など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。